

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 2 月 8 日作成)

|                              |   |                                |                               |
|------------------------------|---|--------------------------------|-------------------------------|
| 小委員会名                        | 昼光に関する基準小委員会  |                                | 主 査 名：古賀靖子<br>就任年月：2010 年 4 月 |
| 所属本委員会<br>(所属運営委員会)          | 環境工学本委員会 (光環境運営委員会)   |                                | 委員長名：久野覚<br>主 査 名：佐藤仁人        |
| 設 置 期 間                      | 2010 年 4 月 ～ 2012 年 3 月   |                                |                               |
| 設 置 目 的<br>各年度活動計画<br>(箇条書き) | 昼光に関するアカデミック・スタンダードの原案を作成する。<br>・2010 年度：昼光に関するアカデミック・スタンダードの目次と執筆分担を決定し、必要な根拠を収集する<br>・2011 年度：目次に沿って、原案の本文執筆に着手する。                      |                                |                               |
| 委員構成<br>(委員名 (所属))           | 委員公募の有無：無し  |                                |                               |
|                              | 井川憲男 (大阪市立大学)、伊藤大輔 (ものづくり大学)、岩田利枝 (東海大学)、岩田朋子 (九州共立大学)、上谷芳昭 (京都大学)、菊池卓郎 (竹中工務店技術研究所)、筑紫一夫 (東京大学大学院)、原直也 (関西大学)、望月悦子 (千葉工業大学)、吉澤望 (東京理科大学) |                                |                               |
| 設置 WG<br>(WG 名：目的)           | 無し  |                                |                               |
| 2010 年度予算                    | 58,000 円  | ホームページ公開の有無：無し<br>委員会 HP アドレス： |                               |

| 項 目                            | 自己評価   |
|--------------------------------|--|
| 委員会開催数                         | 2 回 (年度内計画を含む)   |
| 刊行物<br>(シンポジウム資料等は<br>除く)      |  |
| 講習会                            |  |
| 催し物<br>(シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)  |  |
| 大会研究集会                         |  |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等             |  |
| 目標の達成度<br>(当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. アカデミック・スタンダードの目次を決定した。<br>2. 執筆分担を決定し、各自、根拠資料の収集を開始した。<br>3. 目次と根拠資料を基に、具体的な執筆内容を協議した。                              |
| 委員会活動の問題点・課題                   | 昼光照明設計に必要な天空輝度分布の新しい国際規格はあるが、その適用方法に関する規格が完成していない。また、屋内照明関係の国際・地域規格は数年ごとに改訂される可能性がある。なるべく最新の技術を反映させるよう、注意が必要であると考えている。 |

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。